

ペインティング・ジャーナル

PAINTING JOURNAL Vol.4

塗装その先の未来

Let's painting



目次

Let's painting

屋外木部の塗装	2・3
トタン屋根の塗装	4・5
鉄部の塗装	6・7
平成26年度下半期相談事業並びに塗装教室、「ペイント工房」のご案内	8

屋外木部の塗装

外板や堀、柵などは常に日光や雨にさらされて傷めつけられている。

気付かないうちに、じわじわと塗膜がいたみ、内側の木や鉄が腐食していることはしばしば。

家の外まわりは、三年に一度くらい塗り替える。



■必要な塗料・用具



■外部用ステインペイントまたは建物用ペイント
※水性と油性あり



■ペイントうすめ液



■ペイントバケ



■水性バケ



■皮スキ



■ホウキ



■マスキングテープ



■ローラーバケまたはコテバケおよび受け皿



■サンドペーパー

1



屋外のものは、ホコリや泥が相当ついている。たわしなどで、きれいによごれを落としてから塗装する。
はがれそうな古い塗膜があれば、皮スキやサンドペーパー（＃100くらい）で落とす。

2



窓サッシなど、塗装がついては困るところは、マスキングテープと新聞紙でしっかりカバーしておく。

3



すみっこや、塗りにくいところは、先にハケで塗っておく。外板用や建物用の塗料はとても塗りやすく、ハケ運びなど細かいことを気にせずに塗ることができる。

4



広い面は、ローラーバケかコテバケを使い、高い所は柄をつけて塗るとたいへんラクで、1回塗って、十分に乾燥させてから、もう1回塗って仕上げる。



Attention!

■高い所を、要領よく塗るために



(1)ローラーバケやコテバケには、付属品として柄が販売されてる。できるだけ脚立やハシゴに頼らず、安全な作業法で塗装する。



(2)ハシゴに登って作業するとき、ハケと缶を持っていると両手がふさがって危険。ハシゴの側面にS字フックをかければ、手が空いて安全。足場やハシゴは動かないように十分に注意して安全に作業する。

トタン屋根の塗装

カラートタンの表面に白い粉がふき出したら、塗膜が老化してきたしるしです。

放っておくと、塗膜がはがれ、サビが出て、やがてトタンに穴があき、雨もりの原因になる。トタンは、こまめに塗り替えをしておけば、半永久的にもつもので、三年おきぐらいに塗り替える。



■必要な塗料・用具



1



トタン屋根の上は意外とよごれている。とくに雨の当たらない部分などは、かなりホコリが積っており、デッキブラシなどを使って、きれいに掃除しておく。

2



屋根のすみずみまで、塗膜がはがれかかっているかよく調べ、塗膜がはがれかかっている所があれば、皮スキではがす。サビはワイヤーブラシで落とし、小さな穴はコーキング材で埋めておく。

3



トタン用ペイントを塗る場合は、塗りにくい部分から先にはじめる。かわら棒はサビやすいので、特に入念に塗る。なお、塗ったところを踏むとよく滑るので、注意が必要。

4



広い面は、コテバケかローラーバケで塗る。柄をつぎたして、無理のない姿勢で作業すること、ハケで塗る場合は、塗料をよく含むズンドウバケが便利で、1回塗ったら、日をあらためて2回目を塗る。

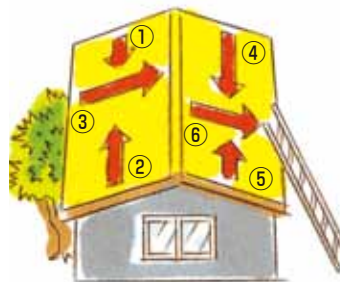


Attention!

■屋根に上がるときは、十分な注意を



(1)ホームセンターなどで安全ベルトを購入し、しっかりしたところに結んで安心して作業する。



(2)塗り終わってみたら塗った上を歩かないと降りられない、ということにならないよう、図のような順序で塗装する。

鉄部の塗装 (門扉・フェンス・シャッターなど)

門扉、フェンス、シャッターなどは、放置しておくと塗膜の傷みが進み、赤サビが出てくる。腐食し始める前に、早めに塗り替える。初日はさび落としとさび止めペイントで下塗り、次の日は上塗り、というように少しずつ進める。(さび落としをしたあとは、その日のうちにさび止めペイントを塗る)



■必要な塗料・用具



■スジカイバケ



■皮スキ



■ワイヤーブラシ



■マスキングテープ



■スクレーパー



■サンドペーパー



■建物用ペイントまたは水性つや有りペイント
※水性和油性あり



■さび止めペイント
※水性和油性あり



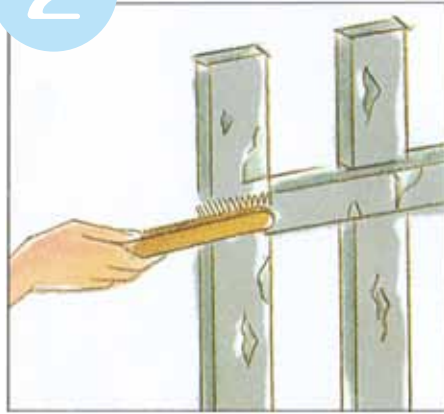
■ペイントうすめ液

1



門扉についているホコリや泥は、前もって水洗いして乾かしておく。泥がついたまま塗ると、塗料に泥が混ざりこみ、ハガレなどの原因になる。

2



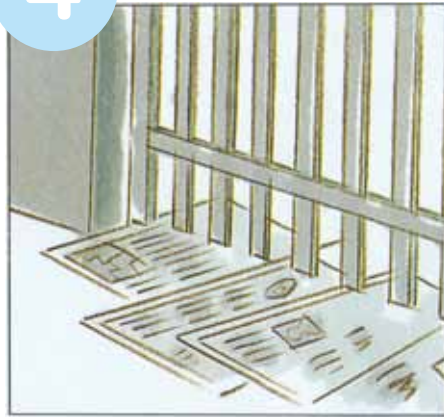
さびが出ている場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパー（＃80くらい）で落す。はがれかかっている塗膜があれば、皮スキやスクレーパーでそぎ落とす。

3



蝶つがいの付近など、油よごれがついている部分は、ボロ布にペイントうすめ液をつけてふき取る。

4



塗りよごしては困るところは、あらかじめマスキングテープでおおい、門扉の下には塗料が落ちるので新聞紙などを敷きつめておく。

5



さび落としをした所は、素地が出ているから、さび止めペイントをあらかじめ拾い塗りしておく。

6



さび止めペイントが十分に乾いたら、建物用ペイントまたは水性つや有りペイントを塗り、塗りにくい所を先に、塗りやすい所はあとで塗る。1回目の塗料が乾いてから、2回目を塗って仕上げる。

■平成26年度下半期相談事業並びに塗装教室、「ペイント工房」のご案内

相談事業は、公益目的事業の一つである塗装技能・技術の知識の啓蒙普及事業の一環として、県市民の皆様の塗料・塗装工事への疑問や問題に対し、中立的な立場の専門家（ペイントコンシェルジュ）からの助言で、問題等の解決支援を行うものです。

本事業は、この他に、大人を対象の実践的な塗装教室、小・中学生を対象の親しんでもらう体験教室「ペイント工房」やボランティア活動等です。

平成26年度下半期の相談事業は、電話相談3回（奇数月）と巡回相談を2箇所を予定しています。

電話・巡回いずれの相談も無料です。

◎電話相談

開催日時（原則奇数月の3火曜日）

- 11月18日（火）午後1時30分～午後4時30分
- 1月20日（火）午後1時30分～午後4時30分
- 3月17日（火）午後1時30分～午後4時30分

相談専用電話 045-263-3960（相談日専用です）

- お掛け間違いのなきようお願いいたします。
- 当日解決できない疑問や問題は、後日専門家よりご連絡いたします。
- 非通知でのご相談は、お受けできませんので、予めご了承下さい。
- 本相談の個人情報、相談事業以外には使用することはありません。

◎巡回相談 ～おでかけください～

- ①12月6日（土）午前10時～午後3時 場所 横須賀産業交流プラザ
横須賀市本町3丁目27 ベイスクエアよこすか一番館3階
- ②2月中旬 相模原市を予定

◎塗装教室

- ①11月30日（日）午前10時～午後4時 場所 横浜市技能文化会館 2F工房
- ②2月15日（日）午前10時～午後4時 場所 横浜市技能文化会館 2F工房

参加費：2500円（材料代）いずれも定員30名

参加申し込みは電話またはファックスで 電話 045(325)8860 FAX 045(325)8944

◎体験教室「ペイント工房」大理石模様によるオリジナル下敷づくり

3月29日（土）午前10時～午後3時 場所 横浜市技能文化会館

参加費：500円 定員：午前、午後の部とも20名 対象者：小学生

